

付 漢口事件

編 注

本件關係文書燒失のため外務省調書により本事
件經過並びに事件善後交渉經過を補った。

518 昭和2年12月

漢口四三事件經過調

漢口四三事件

目 次

- 一、事件前ニ於ケル一般情勢
- 二、事件ノ発端及經過
- 三、陸戦隊ノ揚陸及租界内外ノ応急警備
- 四、在留邦人ノ保証措置
- 五、被害状況
- 六、事件ニ対スル支那官憲ノ態度
- 七、在留邦人ノ引揚

(一) 邦人側被害

六、事件ニ対スル支那官憲ノ態度

七、在留邦人ノ引揚

一、事件前ニ於ケル一般情勢

民衆ヲ後盾トシテ革命ヲ達成セントシタル国民政府カ其ノ
目的ニ急ナル余リ之カ取締善導ヲ怠リタル結果無産階級ノ
無節制ナル跋扈ヲ来シ殊ニ昭和二年一月初メ漢口及九江ノ
英租界回収ニ成功シタル以來漢口方面ニ於ケル對外侮蔑ノ
念頓ニ昂マリ「打倒帝國主義」ノ旗幟ノ下ニ共產過激分子
ノ煽動ニヨル跳梁跋扈益甚シク外國人ニ対スル侮蔑的妄動
盛ニ行ハレ邦人ニ対スル關係ニ於テモ糾察隊及暴民ニ依ル
暴行、破壊、掠奪、不法拉去監禁、不当強要脅迫、住宅闖
入、街路通行中ノ婦女子ニ対スル侮辱加害、労働者ノ不当
賃銀強要等ノ被害事件頻発シ殊ニ三月十二日洋務公会糾察
隊員数名棍棒ヲ携ヘテ帝國總領事館事務室ニ闖入シ館内搜
査ヲ阻止シタル館員二名ヲ殴打スルカ如キ横暴振ヲ發揮ス
ルニ至リ邦人側ノ終始隱忍自重セルニモ不拘停止スル所無
キ這般ノ傾向ハ早晚不祥事件ノ勃発ノ避ケ得サルノ情勢ニ
アルコトヲ思ハシムルモノアリタリ

二、事件ノ発端及經過

四月三日午後四時頃休日上陸中ノ日本水兵二名桜花鳥籠等
ヲ携ヘ日本租界内西小路付近ヲ通行中支那人小児五六名其
背後ヨリ投石シテ執拗ニ擲擄シタルヲ以テ屢々振向キテ之
カ相手トナリ居タル折柄支那人若者一名横合ヨリ喧嘩ヲ仕
掛ケ付近ノ人力車夫苦力等一斉ニ蟬集シ之ニ付和シテ右二
名ノ水兵ニ対シ毆打暴行ヲ加ヘ両者格闘ノ末支那人一名負
傷シテ地上ニ倒レタルカ水兵ハ衆寡敵セサルヲ見テ現場ヨ
リ逃避シ一名ハ血路ヲ求メ辛ウシテ帰艦シ得タルモ他ノ一
名ハ逃ケ遅レ付近ノ邦人経営豪華食堂ニ逃ケ込ミタルニ群
集ハ殺氣ヲ帯ヒテ之ヲ追ヒ折柄室内ニ飲食中ノ水兵二三名
門口ニ立チ出テ物干竿ヲ振り廻シテ之ヲ阻止セントシタル
為群集ハ却テ激怒シ煽動者ノ指揮ニ從ヒ闖入暴行ノ勢ヲ示
シタリ

急報ニヨリ我總領事館ヨリ田中副領事以下警察官三名現場

ニ駆付ケ包囲サレタル一名ノ水兵ヲ逃カシ百方群集ノ鎮撫

ニ努メタルモ群集ハ「日本水兵支那人ヲ刺殺シタリ」ト宣

伝シテ人心ヲ激發シ暴漢一名豪華食堂ノ硝子窓ヲ破壊シタ

ルヲ切掛ニ俄ニ狂暴性ヲ帯ヒ来リ店内ニ闖入シテ破壊掠奪

ヲ開始シ次テ付近ニ居合セタル田中副領事他数名ノ邦人ニ

對シ理不尽ノ暴行ヲ加ヘ其逃クルヲ追ヒテ隣家ノ山吉飲食
店、菊水、漢口日日新聞社、竹乃家族館ヲ襲ヒ更ニ租界内
各所ニ殺到シテ無辜ノ邦人及水兵ニ暴行ヲ加ヘ家宅ニ闖入
シテ破壊掠奪ヲ恣ニシ一時租界ハ暴徒ノ為ニ蹂躪セラレ全
ク無警察ノ状態ニ陥リ邦人ノ生命財産ハ全ク危険ニ曝サル
ルニ至レリ

三、陸戦隊ノ揚陸及租界内外ノ応急警備

依テ高尾總領事ハ最早自衛手段ニ出ツルノ外ナキヲ看取シ
直ニ在泊先任指揮官ト協議ノ上午後五時過在泊中ノ警備艦
安宅、嵯峨、比良、浦風ノ在艦員(当日ハ各艦共半舷上陸ヲ
許シタル為在艦人員ハ全員ノ半数ナリキ)ノ殆ント全部約
百二十名ヲ揚陸シ總領事館前ニ集合セシメタルカ恰モ数名
ノ兒童ヲ先頭ニ赤旗ヲ押立テ三名ノ指揮者ノ巧ナル誘導ニ
從フ數千ノ暴民ハ喚声ヲ挙ケテ明治小学校前迄(總領事館
トノ距離數間)突進シ来リタルヲ以テ陸戦隊ハ岡野少佐指
揮ノ下ニ約一小隊空砲ヲ裝填シテ道路ニ散開シ次テ一斉ニ
発射スルヤ暴民ハ二路ニ分レテ退却シ南走セル一隊ハ平和
街ニ近キ租界内邦人家宅ヲ襲ヒ破壊掠奪ヲ行ヒツツ途上ニ
彷徨スル邦人ヲ殴打シ之ヲ拉去セントシ之ヲ追ヒタル陸戦

隊ハ機關銃二挺ヲ以テ地面ニ向ケ威嚇射撃(約九十發)ヲ為スヤ暴民ハ負傷者邦人一名支那人四名ヲ放棄シテ逃走シ途中更ニ邦人商店二三ヲ襲ヒ本願寺煉瓦塀ヲ破壊シツツ租界外ニ引揚ケタリ

一方陸戰隊ノ別動隊ハ多數暴徒ノ投石ヲ避ケツツ租界外元中支派遣隊營舎跡海軍集会所ヲ目指シテ突進シタルカ途中租界外鐵路付近ニ於テ盛ニ投石セラレ危險甚シカリシ為テ遂ニ五發ノ威嚇射撃ニヨリ暴民ヲ擊退シテ集会所ニ至リ付近在住ノ邦人等ニ危急ヲ告ケ其ノ大半及集会所ニアリタル上陸兵員百三十名ヲ收容シテ無事租界内ニ引揚ケタリ茲ニ於テ陸戰隊全員二百十二名(内准士官以上八名)ヲ以テ各部署ニ配備シ租界内ノ警備ヲ嚴ニシ一破^(船カ)ノ通行ヲ遮断シテ全ク戒嚴状態ノ下ニ治安ヲ支持シ又大正電灯会社ノ支那人職工ハ事件ト共ニ逃走セルヲ以テ各艦機関兵ヲ以テ之ニ代ヘ漸ク点灯ヲ持續シ他方義勇隊、義勇消防隊及在郷軍人等ノ總動員ヲ行ヒ夫々租界防備食糧運搬其他雜役ニ従事シテ応急措置ニ遺憾無キヲ期シタリ

我方ノ応急措置ヲ了シタル頃武漢衛戍司令唐生智ハ軍隊一營ヲ租界外平和街及隣接特別区ニ配置シテ暴徒ノ侵入ニ備

告ニヨリ租界内ニ滞留シタルモノ相當アリテ當時工場内居住者計六十九名ナリシカ事件勃發後モ職工ハ工場閉鎖ニヨリ失業ヲ恐レテ作業ヲ繼續シ一方糾察隊ヲ配置シテ邦人ノ出入ヲ監視シ居リ尋常手段ニヨリ引揚ハ三千ノ職工ヲ動搖セシメ事態ヲ益々紛糾セシムルノ虞アリタル為高尾總領事ハ外交部長陳友仁ト折衝ノ末休業中ノ賃金支払ヲ条件トシ工場ヲ一時休業スル形式ニテ總工会及泰安工会ト了解ヲ遂ケ外交部公安局派員立会ノ上工賃半月分ヲ前渡シ日支警察官及義勇隊員数名護送ノ下ニ右邦人全部ヲ七日午後四時無事租界内ニ收容スルコトヲ得タリ

尚事變ノ際暴民ノ為總工会ニ拉致セラレタル我水兵六名アリタルカ支那官憲ハ總工会ノ迫害ヲ慮リ直チニ之ヲ衛戍司令部ニ引取り抑留中我方ヨリ嚴重交渉ノ結果形勢緩和次第暴徒襲撃ノ危険ナキ夜陰ニ乘シ引渡スコトナリ七日夜支那兵護衛ノ下ニ我總領事館員ノ手ニ引渡ヲ了シ更ニ九日朝旧英租界ニ残留シアリタル婦人一名ヲモ收容シ以上ヲ以テ邦人全部ノ租界内收容ヲ完了セリ

六 南 京 事 件

前記ノ如ク邦人ノ生命保全ノ措置ハ事故ナク完了セルモ租界外ヨリノ避難者大部分ハ着ノミ着ノ儘ニテ時日ノ經過ト

ヘタルモ無節制ナル該軍隊ハ我陸戰隊ニ對シ不穩ノ暴動アリタル為唐生智其他支那官憲我總領事館ヲ來訪ノ際反省ヲ促シタル結果唐ハ四日朝其直屬ノ最優良軍隊ヲ派シテ素質不良ノ右軍隊ト交代セシメ斯克テ彼我協力ノ下ニ租界内外ノ治安ヲ維持スルヲ得タリ

四、在留邦人ノ保護措置

租界内外ノ婦女子ニシテ三日事件直後逸早く收容シ得タルモノハ直チニ總領事館前ニ繋留準備セル大福丸大亨丸武陵丸御月丸ニ避難セシメ更ニ同日午後六時ヨリ租界外邦人ノ租界内收容ニ着手シ他租界中仏国租界在住者約十三名ハ仏國總領事館保護ニ依リ又英租界在住者約二十名ハ英國軍艦ニ收容保護セラレタル上共ニ無事收容ヲ了シ支那街方面ノ在住者ニ関シテハ支那側ニ交渉シテ引揚途中ノ保護方ヲ保障セシメ又事件当日租界内及旧独逸租界ニ於テ暴民及糾察隊ノ為メ拉致セラレタル邦人四名ニ對シテハ總領事ヨリ外交部ニ再三交渉ノ結果五日夜支那側ヨリ護衛兵十名ヲ以テ送致シ來レリ

在留民保護措置ニ付我總領事館ニ於テ最モ苦心セルハ喬口泰安紡績工場關係者ナリ同工場内邦人ハ事件前總領事ノ勸

共ニ寢具其他手廻必需品ヲ取り出スノ必要ニ迫ラルルニ至リタルヲ以テ五日總領事館ヨリ支那側ニ交渉シ軍事委員會ヲシテ執照ヲ發給セシメ之ニヨリ七日是等荷物ノ搬出方手配ヲ開始シタル処邦人ノ引揚ニヨリ失業ヲ恐ルル工人其他糾察隊農民協會及無賴漢ノ為妨礙阻止セラレタルヲ以テ再応外交部及唐生智ニ嚴重交渉ノ結果支那側ノ取締勵行セラレ八日以來一切ノ支障ハ排除セラレ租界外荷物引揚モ無事終了セリ

五、被害狀況

(一) 邦人側被害

租界内街路上住宅内又ハ租界外通交中暴民ノ為ニ毆打セラレ打撲傷ヲ負ヒタルモノ二十二名内一名ハ稍重傷者ヲ除キ何レモ輕傷ニシテ數日後平癒セルモノ多シ事變ノ際暴民及工人ニヨリ在留民四名水兵六名不法監禁ニ遭ヘルモ別段ノ被害ナクシテ引渡ヲ了シタルコト前記ノ如シ

尚産褥臥床中暴徒ノ闖入ヲ受ケ驚愕ノ余リ産褥熱及心臟痲痺ヲ起シテ死亡セル婦人一名アリ以上ニ就キ身体上ノ被害件數ヲ事項別ニ示セハ次ノ如シ

(イ) 毆打

五

(d) 毆打負傷

六

(c) 毆打負傷拉致監禁

一〇

(二) 死亡 (臥床中驚愕ニヨル心臓麻痺) 一

計 二十二件

他方財産上ノ直接被害ヲ見ルニ暴徒ノ破壊掠奪等ニヨル被害百二十七件ニシテ是等被害者ノ損害申告総額約六十八万八千弗ニ上リ之カ査定ニ関シテハ在留民中特ニ事情ニ精通シ且公正ナリト認ムル民団委員等五名ニ被害審査委員ヲ囑託シ総領事以下立会ノ上再度審査委員会ヲ開キタル結果前記申告額ニ対シ約十五万五千弗ヲ以テ最終査定額ト決定セリ

(二) 支那側被害

我陸戦隊ノ発砲其他ニヨル支那側ノ被害ハ死亡者二三名負傷者五六名ニ過キスト認メラルモ支那側ニ於テハ新聞紙其他ニテ死者数十名等ト誇大ニ報告シ居レリ

六、事件ニ対スル支那官憲ノ態度

本件勃発スルヤ外交部長陳友仁ハ直チニ人ヲ我カ総領事館ニ派シ遺憾ノ意ヲ表シ来レルカ更ニ衛戍司令唐生智ハ事件当夜高尾総領事ヲ来訪シ齊シク遺憾ノ意ヲ述ヘタル後自分

以上ノ事情ヨリ察スルニ国民政府側ニ於テハ本件ヲ極メテ重大視シ之ニ依リ日本ノ同情ヲ失フニ至ルヘキコトヲ憂懼シ居ルモノノ如ク事件直後武漢各団体ノ緊急會議武漢各公會ノ連席會議国民党湖北省党部漢口特別市商民協會武昌碼頭總工会等カ何レモ憤激の決議又ハ宣言ヲ為シ武漢人民對日委員會四三惨案傷亡調査委員會等ヲ設立シテ反日の氣勢ヲ揚ケタル情勢下ニ在リテ外交部及衛戍司令部等ハ極力事端ノ再発、民衆ノ鎮圧取締ニ努メ湖北全省總工会モ四日緊急布告ヲ出シテ民衆ノ妄動ヲ戒メ日本人ヲ毆打シ又ハ商舖ニ対スル暴行ヲ禁制スル所アリ前記我カ総領事館ノ邦人救出措置ニ付テモ支那側官憲ハ好意的協力ヲ吝マサリキ

七、在留邦人ノ引揚

事件前ノ一般情勢前記ノ如ク頗ル險悪ニシテ何時不祥事件ノ勃発ヲ見ルヤ測リ難キモノアリタルニ鑑ミ高尾総領事ハ三月二十九日租界外在住邦人代表者ヲ招致シ夫レトナク希望者殊ニ婦女子ノ引揚ヲ勸告シタル結果翌三十日出帆ノ南陽丸ハ引揚婦女子百三十名ヲ收容シ驅逐艦浜風護衛ノ下ニ下航セルカ四月三日事件勃発ヲ見ルニ及ヒ翌四日總領事ハ告示ヲ以テ在留邦人婦女子ノ引揚ヲ命スルト共ニ一部男子

ニ於テ治安維持ノ責ニ任スヘキヲ以テ陸戦隊ヲ撤退セラレ度キ旨申出テタルヲ以テ同總領事ハ支那側ニ於テ治安ヲ保ツ能ハサル結果已ムヲ得サル自衛手段ニ出テタル次第ナレハ將來ノ保障見込立タサル限り右要求ニ応シ難キ旨ヲ以テ之ヲ拒絶スルト共ニ唐ノ租界保護ノ為派遣シタル軍隊ノ規律充分ナラス我陸戦隊トノ正面衝突ヲ起ス危險アルヲ指摘シテ考慮ヲ促シタルニ唐ハ四日朝其ノ所屬ノ最優秀兵ヲ以テ既ニ派シタル軍隊ト交代セシメタリ

四月四日陳友仁ハ再ヒ高尾総領事ヲ来訪シ重ネテ遺憾ノ意ヲ表シタル上国民政府ノ対日方針ハ何等変更ヲ見サルモ兩國關係カ本件ニ依リ累ヲ受クルカ如キコトアラハ甚タ迷惑ナルニ付公正ナル調査ノ結果ニ基キ成ル可ク地方的問題トシテ解決シ度キ希望ヲ申出テ支那側ノ情報トシテハ本件ノ発端ハ日本水兵カ支那車夫ヲ刺殺シタルニ在ルモノノ如キ処果シテ然ラハ結果重大ナルヘシトテ日本側ノ調査ノ結果ヲ聴カムコトヲ求メタルニ依リ高尾総領事ハ本件交渉ハ本國政府ノ訓令ヲ俟ツニ非サレハ如何様ニモ開始シ得サル旨ヲ告ケ更ニ本件発端ニ関スル支那側情報ナルモノハ事実全く無根ナルコトヲ邦人側ノ報告狀況ト共ニ委曲弁駁セリ

ノ引揚ヲモ勸告シタル結果引揚用トシテ準備セル襄陽丸及大福丸ハ第一回引揚邦人一千三百一名ヲ搭載四月六日驅逐艦浦風護衛ノ下ニ下航セリ

次テ時日ノ經過ト共ニ租界ノ孤立並糧食補給及衛生上ノ必要ニ顧ミ成ル可ク滯留者ノ數ヲ減スル為更ニ同九日告示ヲ以テ当分現狀回復ノ見込ナキ狀態ニ鑑ミ事情ノ許ス限り男子ノ引揚ヲ勸告シ其ノ結果第二回引揚トシテ男子ノ一部及婦女子ノ殘部計二四九名ハ十一日出帆ノ大利丸、大貞丸ニテ驅逐艦第十号護衛ノ下ニ下航シ四月十五日岳陽丸ニヨリ更ニ第三回ノ引揚ヲ行ヒ殘留者數五九一名ナリシカ其後屢次便船ニヨル引揚者一六六名上流各地ヨリノ引揚來往者九三名アリテ五月中旬在留民ハ男三七五女一〇七(大部分料理屋關係者)小兒三六計五一八名トナレリ而シテ是等殘留者ハ陸上領事館小学校其他及水上御月丸、沅江丸、大享丸等ニ夫々區別收容シ共同炊事ニヨリ生活セシメ其態恰モ野戰狀態ノ生活ニ髣髴タルモノアリシモ其後ノ事態平穩ニ向フト共ニ租界警備区域ヲ擴張シ一方租界内居住者ハ總領事ノ勸告ニヨリ安堵シテ旧居ニ復歸シ小商人等勃々開業シ始メ租界内情勢漸次緩和ヲ見ルニ至レリ

519 昭和2年12月

漢口事件善後交渉経過調

漢口事件善後交渉経過

目次

- 一、善後交渉ニ関スル帝國政府第一回訓令
- 二、第一回会見
- 三、帝國政府第二回訓令
- 四、第二回会見
- 五、解決方針ニ関スル高尾總領事稟請
- 六、帝國政府第三回訓令
- 七、第三回会見
- 八、第四回会見
- 九、保障条件ニ関スル高尾總領事具体案
- 一〇、第五回会見 支那側対案

- 一一、帝國政府第四回訓令
- 一二、第六回会見 妥協案成立
- 一三、妥協案承認方ニ関スル高尾總領事稟請
- 一四、帝國政府第五回訓令 妥協案不承認
- 一五、交渉停頓

一、善後交渉ニ関スル帝國政府第一回訓令

漢口四三事件ニ関シ帝國政府ハ四月二十五日在漢口高尾總領事ニ対シ本件カ地方的解決ノ見込アルニ於テハ速カニ邦人側損害額ノ調査ヲ完了シタル上國民政府外交部長陳友仁ヲ通シテ同政府ニ対シ大體

(一)漢口ノ治安維持ニ付責任ヲ有スル支那側最高官憲ヲシテ陳謝セシムルコト

(二)本邦人死傷者ニ対シ相当ノ慰藉金ヲ支払ハシムルコト

(三)掠奪、破壊、焼打其他ノ暴行ニ因ル本邦人ノ財産上ノ損害ニ付適當ニ賠償セシムルコト

(四)将来ニ対スル保障ヲ取付クルコト

等ノ要求条件ニ依リ交渉ヲ開始スヘク就中第四項将来ノ保障ニ関シテハ既ニ引揚ケタル居留民ヲ速ニ復歸セシメ

我カ既得ノ地歩ヲ保全スル必要上一片ノ声明ニ止マラス租界内ノ治安及租界外居留民ノ生命財産ノ保護ニ付特ニ我方ノ信頼シ得ヘキ最モ適切ナル具体的措置ヲ執ラシメ尚同總領事ノ見込ニ依リテハ加害者ノ処罰ノ一項ヲ前記我方要求条件ノ一項トシテ追加スヘキ旨電訓セリ

二、第一回会見

依ツテ高尾總領事ハ五月十七日陳友仁ヲ訪問シテ本件善後交渉ニ付開談シ

(一)漢口ニ於テ治安維持ノ責任ヲ有スル支那最高官憲ヨリ

陳謝ノ意ヲ表スルコト

(二)日本國臣民ノ負傷者ニ対シ慰藉金ヲ支払フコト

(三)掠奪破壊焼打其他暴行ニ依リ日本國臣民ノ財産上ノ損害ニ対シ相当ノ賠償金ヲ支払フコト

(四)将来此ノ種事件ノ発生ヲ防止シ日本國臣民ヲシテ安全ニ居住又ハ商工業ヲ営ミ得ヘキ保障ヲ現実ニ与フルコト之カ方法ニ付テハ別ニ協議スルコト

六 南 京 事 件
等ノ要求条件ヲ提出シタル処陳友仁ハ先ツ本件ノ発端ニ關シ日支何レニ責任者アリヤノ事実ヲ共同調査委員ヲ設ケテ公平ニ調査シタク又本件ト共產党トノ關係ニ關シテモ同様

共同調査ノ上事件ノ真相ヲ突止メタキ旨ヲ提議シタルヲ以テ高尾總領事ハ本件カ昨秋以來ノ漢口ノ状況ヨリ見テ其ノ近因ノ如何ニ拘ハラズ必然生スヘキ暴動ナリシコト明カニシテ其ノ責任ハ全然支那側ニ在リ共同調査ニハ主義上同意スルヲ得サル旨ヲ以テ反駁シ我方要求ニ対シ考慮ヲ加ヘラレムコトヲ要求シテ同日ノ会見ヲ打チ切りタリ

三、帝國政府第二回訓令

帝國政府ハ五月二十日高尾總領事ニ対シ漢口事件ハ革命軍ノ武漢進出ニ伴フ同地方ノ事態ヲ反映スルモノニシテ其ノ解決振如何ハ漢口並長江上流各地ニ於ケル我居留民カ原地ニ安ンシテ復歸シ得ルヤ否ヤノ問題ニ対スル解答トモナルヘキモノナルヲ以テ國民政府側ニ於テ単ニ警察的取締ヲ今後一層嚴重ニスル程度ノ措置ニ止マラス商業取引ニ対スル根本的障害タル現銀集中条例ノ如キモ邦商ニ対シ相当緩和ノ途ヲ開キ又工場航運等ノ關係ニ於テモ産業破壊ニ均シキ現在總工會側ノ要求ニ対シ具体的統制ノ組織ヲ樹ツル等夫々方法ヲ設ケ以テ将来ノ保障ヲ確実ナラシムルニ努ムヘキ旨重ネテ訓令セリ

四、第二回会見

五月二十五日第二回会見ニ於テ陳友仁ハ我方要求条件第四項ノ将来ニ対スル保障ニ関スル具体案ヲ承知シタキ旨申出タルヲ以テ高尾総領事ハ日本側提出ノ四条件ヲ支那側カ原則トシテ全部承認スルヤ否ヤカ先決問題ナルモ将来ノ保障ニ関スル我方具体案ヲ例示セハ現銀集中条例ノ撤廃乃至ハ其ノ改訂、土豪劣紳条例ノ緩和、労働条件ノ改善、排日宣傳ノ禁止等武漢政權管下ニ於ケル居住貿易ヲ絶対ニ安全ナラシムルニ必要ナル保障ニ存スル旨ヲ陳ノ参考迄ニ申述ヘタル処右ニ対シ陳ハ(一)現銀集中条例ニ関シ河南方面ノ戦局ノ發展スルニ伴ヒ土貨ノ輸送開始セラレ貿易ノ復活シ得ル時期ニ至ル場合ニハ遲滞ナク同条例ヲ撤廃又ハ緩和スル考ナルコト(二)土豪劣紳条例ニ関シテハ既ニ其ノ誤マレル適用ヲ防止スヘク相当ノ手段ヲ講シ特ニ湖南ニ於ケル同条例履違ヨリ生スル結果ハ多少ノ時日ヲ要スヘキモ著々救済及改善ノ歩ヲ進メツツアルコト(三)労働条件ニ関シテハ労働者ノ悪化ハ事実ニシテ之レカ為却テ漢口方面ノ経済活動ノ屏息ヲ誘致シ労働者自身生活ノ脅威セラルル窮境ニ陥リ居レルヲ以テ政府ノ取締モ有効ナルヘキ場合トナリタルモ労働条件ノ改善ニ付テハ当事者ノ自由審議ニ任セ之ニ対シ極力調

停幹旋ノ地位ニ立チ度キ考ニシテ将来ハ徹底的ニ労働運動ノ取締ヲ行ヒ得ル見込ニシテ又其ノ覚悟アルコト又(四)排日宣傳ニ関シテモ将来共勿論嚴重取締ルヘキコト等ヲ述ヘタリ依ツテ高尾総領事ハ将来ノ保障ヲ確保スヘキ具体的条件ノ要旨ハ篤ト研究ノ上提出討議スヘキモ先ツ我方要求条件ニ対スル支那側ノ意向ヲ承知シ度キ旨ヲ述ヘタルニ陳ハ依然トシテ事件ノ発端及本件ト共產党トノ關係ヲ闡明スルカ為共同調査ヲ行フコト本件ノ根本的解決上必要ナル旨ヲ主張シタルニ依リ高尾総領事ハ右ニ対シテハ一応政府ニ請訓ノ上何分ノ回答ヲナスヘキモ若シ政府ニ於テ応諾シ難シトナス場合ハ支那側ニ於テ讓歩セサル限り本件ノ解決ハ困難ナリト考フル旨ヲ述ヘテ同日ノ會議ヲ打切リタリ

五、解決方針ニ関スル高尾総領事稟請

高尾総領事ハ右第二回会見後支那側提議ノ共同調査ハ之ニ依リテ共產党ノ陰謀ヲ摘発シ之カ撲滅ヲ計ルコトハ望マシキモ從來ノ不法行為並漢口事件勃発當時ノ成行ニ付キ何等的確ナル証拠ナク却ツテ支那側ニ於テ相当ノ証拠物件ヲ保有シ居リ共同調査ノ我方ニ不利ヲ来スヘキ虞アルヲ以テ本件解決ノ方針トシテ

六 南 京 事 件

(一)共同調査ハ大体論ニ立脚シテ飽迄之レヲ拒絶シ昨年九月以来ノ各種暴行事件ノ概要、各種工会ヨリ邦人商人業者ニ提出セル不当要求ノ顛末、及日清汽船其他邦人船舶ニ対スル不法行為ノ顛末等ノ文書ヲ陳友仁ニ交付シ右文書ニ依リ昨秋以来事態カ如何ニ悪化シ邦人カ如何ニ圧迫セラレタルカヲ立証シ

(二)主義上先ツ支那側ヲシテ我方提出ノ四条件ヲ承諾セシメ

(三)損害額ヲ提出シ之ニ付キ共同調査ノ必要アル場合ニハ共同調査ヲ承諾シ

(四)更ニ保障条件ヲ善処スルコト

ノ順序ニ依リテ交渉ヲ進捗セシメタキ旨ヲ具申スルト共ニ右(一)ノ調査ヲ陳友仁ニ交付ノ際本件發生ノ原因ニ鑑ミ共同調査ヲ行フカ如キハ全然其ノ必要ヲ認メサル趣旨ヲ説明シテ我方ノ主張貫徹ニ努ムヘキモ支那側ニ於テハ恐ラク容易ニ承諾セサルヘク其ノ場合ニ於ケル交渉行詰リヲ避クル為

(一)提出条件第一項陳謝ノ件ハ既ニ事件發生ノ当夜武漢衛戍總司令唐生智カ親シク高尾総領事ヲ訪問シ遺憾ノ意ヲ表シタル次第アリタルヲ以テ右ヲ以テ陳謝ノ実行ト

看做スコト

(二)同第二項慰藉ノ件ハ支那側死傷者ニ対スル弔慰金ト相殺スルコト

(三)同第四項ノ保障条件ニ関シ現銀集中条例ハ事情ノ許ス限り速ニ撤廃スヘキ旨ヲ声明セシムル程度ニ止メ漸次解決ノ歩ヲ進メシムルコト

(四)本件交渉解決ノ上ハ租界周囲ノ防備ヲ撤去シ陸戦隊ヲ撤退スヘキ旨言明スルコト但右実行ノ場合ニハ海軍警備隊ノ名義ヲ以テ二百名位ノ海兵ヲ租界ノ治安維持ノ為存置スル事ヲ条件トスルコト

等ノ可否ニ関シ本省ニ請訓シ来レリ

六、帝國政府第三回訓令

仍テ帝國政府ハ六月五日先ツ将来ノ保障ニ対スル要求条件トシテ高尾総領事ノ有スル具体案ヲ照会スルト同時ニ

(一)武漢政府ニ於テ陳謝ノ意ヲ表スルコトハ事件当夜唐生智カ高尾総領事ニ対シ遺憾ノ意ヲ表シタルコトヲ以テ満足シ難キコト

(二)支那側死傷者ニ対シ撫恤金ヲ与フル要アル場合ニハ我方死傷者ニ対スル慰藉金トハ別個ニ高尾総領事一個ノ

恩恵トシテ撫恤方ニ付商議スルコトニ異存ナキコト

(三)租界防備中ノ我陸戦隊ハ漢口ノ治安状態不備ナル為揚陸セラレタル次第ニシテ其ノ状態ノ継続スル間ハ縱令漢口事件解決スルモ之ヲ撤退スルコトヲ得サルヘク又武漢政府ニシテ速ニ治安ノ回復確実ナルコトヲ示サハ右事件解決前ト雖モ撤退シ得ヘク一ニ同政府ノ対外國人施設振ニヨリテ決定セラルヘキ問題ニシテ苟モ陸戦隊ヲ揚陸シ置ク限リハ海軍陸戦隊トシテ行動セシムルノ外ナカルヘキコト

(四)共同調査ハ之ヲ拒絶スルコト可然モ武漢政府ノ対内關係上之ヲ認ムルニ非サレハ本件ノ迅速ナル解決不可能ト認メラルル場合ニハ損害調査ニ関シテノミ之ヲ承認スルモ差支ナキコト

等ノ趣旨ヲ訓令セリ
七、第三回会見

五月三十一日高尾総領事ハ陳友仁ヲ訪問シ昨年九月以来ノ各種暴行事件、工会ノ不当要求及邦人船舶ニ対スル不法行為等ノ概要ヲ記セル各調査書ヲ陳ニ手交シ事件ノ遠因及其ノ動機ハ右調査ニテ明瞭ナルヘキニ依リ速ニ我方要求条件ニ

等ノ諸点ヲ開陳シタルヲ以テ右ニ対シ高尾総領事ハ我方提出ニ係ル四条件ハ何レモ讓歩ノ余地ナク從テ本邦人ノ被害区域ヲ租界内外ニ區別スルカ如キハ到底同意シ難キ趣旨ヲ以テ応酬シテ会見ヲ終ハレリ

九、保障条件ニ関スル高尾総領事具体案

高尾総領事ハ前記六月五日帝國政府ノ電訓中将来ノ保障ニ関スル具体的要求条件トシテ左ノ諸項ヲ回電シ来レリ
(一)武漢政府權下ニ於ケル邦人ノ居住ノ安全及商工業ノ經營ヲ脅威スヘキ一切ノ不法行為ノ嚴重取締並條約及慣例ニ反スル一切ノ課税徵発募債等ヲ強制セサルヘキ旨ヲ保障スルコト

(二)本邦人商工業者ト各種工会間ノ労働争議ノ解決条件タル圧迫の取極ハ總テ之ヲ改廢スルコト

(三)日支兩國官民ヨリ成ル労働争議調停機關ヲ設置スルコト
(四)外國人ニ對シ差別的圧迫ト認メラルヘキ工会ヲ組織セシメサルコト並此種現存ノ工会ハ直ニ解散セシムルコト

(五)無根ノ事実ヲ捉ヘ民衆ヲ煽惑シ排日風潮ヲ醸スカ如キ宣傳ヲ取締ルコト

(六)現銀集中條例ヲ成ルヘク速ニ撤廢スルコト

對スル満足ナル回答ヲ与ヘンコトヲ求メタルニ陳ハ日本側ノ要求全部ヲ其ノ儘容認スルコトハ日本ノ山東出兵ニヨリ國民政府部内ノ空氣甚タ不良トナリタル折柄困難ナル事情ヲ述ヘタル上進シテ支那側死傷者ニ對スル救恤金ノ件ヲ持出シタルヲ以テ同總領事ハ一先ツ陳ノ申分全部ヲ拒絶シテ同日ノ会見ヲ終レリ

八、第四回会見

次イテ六月三日高尾総領事ハ陳友仁ト第四回会見ヲナセルカ其ノ際陳ハ大要

(一)共同調査ノ件ハ我方ノ主張ヲ至當ト認メ之ヲ撤回ス

(二)支那側ヨリノ陳謝及日本人負傷者ニ對シ慰藉ヲ支払フコトハ甚タ困難ナルコト

(三)日本人ノ損害ニ對シテハ之レヲ日本租界内ト租界外ニ分チ租界外ノ分ハ直チニ支那側ヨリ支払フヘキモ租界内ノ分ニ付テハ後日ノ調査ニ讓ルコトトシタク又支那人死傷者ノ救恤金ハ日本側ニ於テ考慮アリタキコト

(四)将来ノ保障ニ付テハ支那側ハ日本側ノ要求スル以上一般ノ事態改善ニ努力シツツアル次第ナレハ此ノ点ハ協定決シテ困難ナラスト思考スルコト

(七)日本人商工業者ノ施設ニ對シ經營ヲ脅威スヘキ各種條例改善方ニ付適宜考慮スルコト

一〇、第五回会見(支那側提案)

六月五日第五回会見ニ於テ陳友仁ハ國民政府ニ於テハ速ニ本件ヲ解決シタキ方針ナル処解決方針トシテハ

(一)第一ノ陳謝ニ関シテハ之ヲ表向キニ直チニ実行スルコトハ國民政府ノ地位ヲ危險ナラシムルヲ以テ極メテ困難ナルニ依リ國民政府ノ北京占領後迄留保スルカ又ハ撤回アリ度キコト

(二)第三ノ賠償金ハ租界ノ内外ニヨリ差別的の方法ヲ講スルノ主張ヲ取消シ一律支払フヘキコト但シ金額ノ決定ニ関シテハ日支共同委員ノ査定ニ依ルコト

(三)第二ノ慰藉金ニ関シテハ、出来得レハ第三ノ賠償金ト併合シ支払フコト但シ右ニ付日本ノ同意ナクハ國民政府ノ北京遷都ノ際迄留保シ度キコト

(四)支那側死傷者ノ救恤金ハ是非共考慮アリ度キコト

(五)日本側要求条件中第四ノ将来ノ保障ニ付テハ國民政府ニ於テ自発的ニ具体的方策ヲ講スルノ形式トスルコト等ヲ申出タリ

仍ツテ高尾総領事ハ我方ノ原案ノ讓歩シ難キ旨ヲ以テ説得ニ努メタルモ陳ハ依然困難ノ事情ヲ訴ヘ容易ニ我方原案ニ同意ノ模様ナカリシヲ以テ同総領事ハ支那側死傷者ノ救恤金ニ付テハ全然本件交渉ト別個ニ同総領事限リノ自発的措置トシテ何トカ考慮スルコトトスヘキモ陳謝ノ件ハ断シテ撤回シ難キ趣旨ヲ以テ応酬シ又将来ノ保障ニ対スル我方ノ希望トシテ前項同総領事ノ具体的要求案ヲ示シ右ハ日支双方間ニ協定ノ形式トシタキ希望ナルモ若シ支那側ニ於テ忠実ニ之ヲ実行スヘキ意思アルニ於テハ支那側単独ノ自発的声明トナスモ可ナリト述ヘ先方ノ考慮ヲ促シテ同日ノ会見ヲ打ち切りタリ

一、帝國政府第四回訓令

仍テ帝國政府ハ六月七日高尾総領事ニ対シ支那側ニ於テ誠意ヲ以テ我方ノ要求ヲ考慮スル場合ニハ可成速ニ我方從來ノ方針ニ依リ本件ヲ解決シ度キ意向ナルモ支那側ニ於テ口実ヲ設ケ本件ノ解決ヲ遷延シ又ハ当然為スヘキ謝罪ヲ拒否スルカ如キ態度ニ出ツルニ於テハ我方トシテハ主張ヲ讓歩シテマテモ此際之ヲ解決セント欲スルモノニアラス又将来ノ保障ハ形式上國民政府ノ自発的措置トナスコトニ異存ナ

キモ其ノ内容ハ同総領事ノ具体的要求条件諸項ヲ包含スルヲ要スルニ付右ニ付テ支那側ト明確ナル了解ヲ遂ケ置ク様重ネテ訓令セリ

一、第六回会見(妥協案成立)

六月六日高尾総領事ハ陳友仁トノ第六回会見ニ於テ極力我方ノ主張ヲ説得シタルモ陳ハ前夜ノ政治會議ノ結果山東出兵ノ反響及河南戦況發展ノ為メ日本側原案ノ承認益困難トナレル次第ヲ述ヘ損害及慰藉金ハ日支共同委員會ノ査定ヲ俟テ解決シ保障条件モ右委員會ニテ考慮ノ上「レコンメン」ドセシムルコトトスヘキモ陳謝条件ハ応諾シ難キ旨ヲ言明シ討議ヲ重ネタルモ遂ニ先方ノ讓歩ヲ得ルニ至ラス結局辛ウシテ損害賠償、慰藉金、陳謝及将来ノ保障ニ関シ左ノ如キ妥協案ニ達スルニ至レリ

國民政府ハ漢口日本租界内ニ於テ四月三日惹起セル不祥事件ニ関連シ曩ニ外交部長ヨリ日本政府ニ通告セル陳謝ヲ確認シ且当該支那官憲ハ國民政府ノ直接管轄スル地域ニ居住スル日本人ノ居住及營業ノ安全ヲ確保シ同種事件ノ発生ヲ阻止スルニ必要ナル措置ヲ執ルヘキコトヲ声明ス

六 南 京 事 件

漢口日本租界内ニ於ケル四三事件ノ解決ハ武漢ニ於ケル常態ヲ復活セシメ日本人力營業ノ一般的復旧ニ参加スルコトヲ容易ナラシムル為必要ナルヲ以テ日支委員ヨリ成ル共同委員會ヲ設ケ日本租界内ニ於ケル四月三日ノ不祥事件ニ関連シテ日本人ノ蒙レル損害及慰藉金トシテ國民政府ノ支払フヘキ額ヲ査定決定スルコトニ同意ス

尚以上ノ妥協案ニ付(一)将来ノ保障ニ関スル我方具体的条件ノ如キ事項ニ関シテハ陳ハ主義上完全ナル保障ヲ与フルコトトナレハ必要ナル改善方法ハ将来必要ニ応シテ個々ニ解決スルコトトシ國民政府ニ於テハ我方ノ正当ナル提議ニハ必ス応スヘキヲ以テ同政府ノ誠意ニ信頼シ其ノ自発的努力ニ俟タレ度キ旨ヲ述ヘ(二)右解決ノ形式トシテハ陳ハ英文ニ依ル公文交換ノ形式ニヨリ高尾総領事カ日本政府代表者(Representative of Japanese Government)トシテ署名スルコトヲ希望シ又(三)支那側死傷者ニ対シテハ本件交渉問題トハ別個ニ全然高尾総領事ノ自発的措置トシテ非公式ニ取扱フコトトナレリ

一三、妥協案承認方ニ関スル高尾総領事稟請

前項妥協案成立後高尾総領事ハ國民政府トシテハ日本トノ

關係ヲ良好ニ導キ度シトノ希望ハ今尚變ラサルヘキモ共產党トノ分離問題未タ解決セサル今日山東出兵ニ対スル反対気声モ漸ク盛ナラムトスル際我方ノ要求全部ヲ容ルルコト甚タ困難ナルヘキコト推察ニ難カラス又陳友仁ノ立場トシテモ英國租界問題ト対照シ全然之ト正反對ノ解決ヲ試ムルコト其ノ立場上至難ナルヘク旁々此際我方要求全部ヲ容レシメムトセハ何等カノ高圧手段ニ出ツルカ又ハ交渉ヲ打ちリ現状ニ甘ンスルノ外無カルヘキ処前記妥協案ハ陳謝ノ点ニ付不徹底ナルト保障条件ヲ確定セサリシ点ニ於テ遺憾無キニ非サルモ一方在留邦人ノ復帰心漸ク盛ナラムトスル際本件交渉ノ不調ニ依リ此上邦人ヲシテ進退兩難ニ陥ラシムルニ忍ヒス保障条件ノ確定ヲ犠牲ニシテ妥協ニ到達シタル次第ヲ具申シ保障条件ハ不確定ナルモ我方要求条件中例ヘハ外国人ノ業務ヲ脅威スヘキ各種法令ノ如キハ支那側ニ於テ自衛上著々改善又ハ緩和シ殊ニ現銀集中条例ノ如キモ支那側自身ノ立場ヨリ見ルモ其ノ緩和若クハ撤廢ハ最早ヤ時日ノ問題ナルヘク又共產過激分子ニ対スル制御振りモ漸次徹底ニ向ヒツアル有様ニシテ結局國民政府ノ誠意ハ之ヲ認め得ルニ難カラサル次第ナルニ付保障条件ノ具体的協定

ハ今後隨時之ヲ協議スルコトトシ大局ヨリ見テ右妥協案ニ
テ一先ツ本件ヲ解決セシメ度キ旨ヲ稟請セリ

一四、帝國政府第五回訓令（妥協案不承認）

前記高尾総領事稟請ニ対シ帝國政府ハ六月十一日支那側カ
山東出兵ノ反響、共產党トノ分離問題ヲ云為スルハ武漢政
府ノ立場上前回会合ト六日会合トノ間ニ其ノ態度ヲ俄カニ
硬化セシムルニ足ル何等實質的變局アリタリトハ認メラレ
サルニ照ラシ之ヲ口実トシテ交渉上ノ懸引ニ利用セムトス
ル魂胆ナルヘキコト推察ニ難カラス加之陳友仁ノ言フカ如
クハ武漢政府ニ於テハ我方要求ニ係ル具體的保障条件ノ如
キ各種ノ改善ヲ自衛上必要ト認メ著々実行ノ意図アル趣ノ
処改善方法ハ今後必要ニ応シ其都度個々ニ解決スルコトト
致度ト云フモ泰安紡績ノ閉鎖ト云ヒ本邦側各銀行会社其他
ノ業務ト云ヒ此際何トカ具體的保障ヲ取付ケサル以上復帰
再開到底困難ナルヘク然ルニ武漢政府ニ於テハ種々ノ名目
ニテ不当課税ヲ実施セムトスル模様ニテ彼此思ヒ合ハスニ
同政府側ニ於テ實質的ニ我方要求ニ聴クノ誠意ト勇断アリ
ヤ頗ル疑ハシク要スルニ前記妥協案殊ニ陳謝及保障ニ関ス
ル条項ハ此儘ニテハ満足致シ難ク当方トシテハ不満足ナル

ヲ命セラレ十六日出発シタルヲ以テ前日帰朝挨拶旁々陳友
仁ト最後ノ会见ヲ為シタル際モ何等右訓令ニ依ル交渉ヲ進
捗セシムルヲ得ス從テ交渉ノ経過及今後ノ方針等ハ同総領
事帰朝後ノ報告ニ基キ審議セラルヘキニ付田中総領事代理
ハ更ニ何分ノ訓令アル迄交渉ノ進捗ヲ留保シ支那側ニ対シ
何等措置ニ出ツルコトヲ差控フルコトトセリ

条件ヲ以テ殊ニ保障条件ヲ有耶無耶ニシテ迄モ本件ヲ急速
解決セムトスルモノニ非ス残留居留民モ商売復活ニ関スル
具體的保障ヲ要望シツツアル以上其ノ保障無キ解決ニハ満
足セサル可キ次第ナルニ付陳友仁ニ対シ我方要求全体ニ対
シテ切実ニ再考ヲ促シ就中武漢政府ノ誠意披瀝スルカ為ニ
ハ我方ノ満足スル陳謝ヲ実行シ保障条件ニ付テモ少クモ我
方ノ譲歩シ得ヘキ限度ニ於テ速カニ措置スルノ要アルコト
ヲ説キ若シ武漢政府ニシテ其ノ誠意無キニ於テハ從來我國
民間ニ主張セラレタル強硬論モ遂ニハ政府ニ於テ制止シ得
サルニ至ル可ク一方我方要求ヲ容ルルモ武漢政府ノ立場ヲ
安固ニコソスレ決シテ之ヲ弱ムルカ如キ惡結果ヲ来ササル
可キ次第ヲ懇ニ申入レ以上ノ措置ヲ尽クスモ猶本件解決ノ
見込全然無キニ於テハ適當ニ交渉ヲ打切り近ク開カルヘキ
東方會議參加ヲ理由トシテ帰朝ヲ言明シ未解決ノ儘暫時懸
案トシテ残スノ外ナキ旨ヲ電訓セリ

一五、交渉停頓

前項六月十一日發帝國政府訓令ハ上海漢口間電信不通ノ為
メ十七日漸ク着電シタルカ一方高尾総領事ハ六月二十日開
会ノ予定ナリシ東方會議ニ臨時委員トシテ出席ノ為メ帰朝

以上ノ結果前記訓令ハ遂ニ執行ヲ見ルニ至ラス四三事件ノ
善後交渉ハ茲ニ未解決ノ儘懸案トシテ暫ク留保セラルルコ
トトナレリ

編 注

本文書は「亞細亞局第二課 昭和二年十二月調 最近
支那關係諸問題摘要（第五十四議會用）第一卷 交渉
問題」より採録。